

開山三三〇年記念事業

KANGAAN

黄檗禅宗 瑞芝山 閑臥庵

砂曼茶羅の
神秘なる空間
〜静寂と陰影の中で〜

平成20年（特別一般公開） 午前10時〜午後6時

9月1日（月）—11月30日（日）

記念法要
◎8月5日 閑臥庵開山日
◎8月19日 後水尾法皇 法皇忌

砂曼茶羅
特別公開

後水尾法皇御供養と
世界平和の願いを込めて
チベット高僧による砂曼茶羅の制作—拝観

【主催】
黄檗禅宗 閑臥庵

【後援】
黄檗宗 大本山 萬福寺
京都国際観光客誘致推進協議会
京都市産業観光局
京都市観光協会
京都府観光連盟
NHK
KBS 京都
京都新聞社
京都仏教会

【特別協力】
MKタクシー
JR東海
佛教大学
大谷大学
京都写真家協会



黄檗禅宗 瑞芝山 閑臥庵 KAN GA AN

「閑臥庵」は山号を瑞芝山という黄檗宗の禅寺です。もとは、梶井常修院の宮の院邸であったが、江戸時代前期に後水尾法皇が、夢枕に立った父・後陽成天皇の言葉に従って、王城鎮護のために貴船の奥の院より鎮宅靈符神をこの地に勧請し、初代隠元禅師から六代目の黄檗山萬福寺管長千呆禅師が開創となって寺としたのが当寺の起こりです。



中庭



本堂

御所の祈願所として法皇自ら「閑臥庵」と命名し、御宸筆の額を寄せて勅号としたほか、法皇は、春に、秋に、和歌を詠んで庭を愛でたといわれ、

秋の句「明けぬとて 野辺より山に入る鹿の
あとふきおくる 萩のした風」

など、御宸翰その他が今も伝えられています。



鎮宅堂

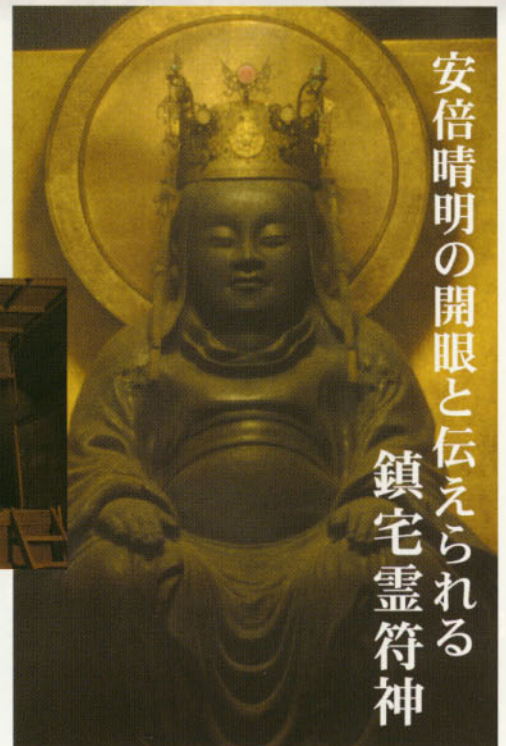
この鎮宅靈符神の御廟は、後水尾法皇の夢枕に立った、父・後陽成天皇のお告げにより、平安の昔、陰陽師・安倍晴明が貴船に開眼した鎮宅靈符尊神を、御所の北側の当地に移し閑臥庵を開山しました。



韋駄天像

閑臥庵に祀られている北辰鎮宅靈符神は、十千十二支九星を司る総守護神であり、陰陽道最高の神とされています。

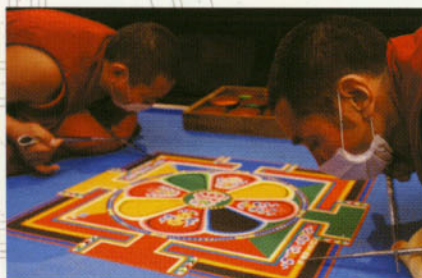
その鎮宅靈符神は、平安時代の中ごろ円融天皇が方除・厄除の靈神とし京都のうしとら（東北）にあたる貴船に祀ったもので、天皇が陰陽師の安倍晴明に付託開眼させたと伝えられる金銅像で、高さ四尺五寸の神像です。



安倍晴明の開眼と伝えられる
鎮宅靈符神

砂曼荼羅制作 特別公開

チベット高僧による砂曼荼羅の制作実演、その神秘的な世界。高僧数名が微量な砂を落としながら、祈りを込めて曼荼羅を描いていきます。その神秘的な曼荼羅の世界は、必ずや人々を悠久の世界へと誘うことでしょう。



● 場所・お問合せ

閑臥庵 〒603-0000 京都市北区烏丸通鞍馬口東入278
☎075(256)2480

● 特別拝観料

2,500円
(お抹茶、京菓子付)

● 取扱所

・閑臥庵
・チケットぴあ
☎0570-02-9999
(Pコード: 986-173)

● アクセス

地下鉄烏丸線「鞍馬口駅」下車 徒歩3分
車: 名神京都南、京都東ICより 約25分

